

いばらき民商学校開く

全商連 52 回総会方針等学ぶ

民商・全商連運動の基本を学び、運動に確信と誇りをと、10月30日、龍ヶ崎市内で県連主催の「幹部学校」が開かれ、県内から民商や共済会、青年・婦人部の役員など28名が参加しました。

午前中は、総会方針のDVD動画を視聴したあと茨商連会長が総会の特徴について講演。安倍内閣の進める暴走政治は憲法改悪や沖縄の基地問題、原発やTPP強行など多岐にわたっており、国民との対立が深まっていることを解明しました。また、拡大の意義や「支部」の役割、財政問題などについて各民商会長が報告しました。

午後は、相談活動や共済、婦人・青年問題についての報告の後、司法書士の仲道宗弘さんが「税の徴収と滞納処分」と題して講演。群馬・前橋市の税金の異常な取り立てについて詳しく説明し、今後の運動の方向等について明快に話されました。



銀行利用の確認方法が変更

- 口座の開設や10万円超の振込などでは、本人の確認方法が変更になります。
- 個人・・・運転免許証 パスポート（顔写真のあるもの）
ない時は、保険証と公共料金領収書など
 - 法人・・・登記事項証明書 印鑑証明書 定款など
口頭で取引の目的などを聞かれます（個人・法人）

憲法活かしから しと平和を守る 秋の大行動

総がかり取手実行委員会は10月23日、取手駅前広場で秋の大行動を開催し、150人余が集まりました。

集会はトランプ演説で開会し、実行委員会からのあいさつの後、各団体からアピール表明につきコール。取手駅前から西口までをデモ行進し市民にアピールしました。

最後に集会アピールが提案。「安倍政権の進める南スーダンへの派兵や憲法改悪は絶対に許せない」「くらしと平和を守る活動を一層進めよう」と確認し合いました。



第13回地方自治 研究全国集会 in 茨城・つくば

地方自治研究全国集会が10月1・2の両日茨城・つくば市で開催。全国から延べ2200人が参加。茨城の各民商は、受付などの要員としても集会成功に向けて貢献しました。

第2日目の第1分科会では、「地域経済を活性化し、個性豊かなまちづくりを」テーマに「税務行政と人権」について浦野広明氏が、「再生可能エネルギーに未来を託し」と題して土浦民商の平戸治夫氏が報告しました。税の滞納による差押え問題では、差押え禁止財産にさえ差押えをする市当局の横暴について説明しました。



27	27	16	15	11	9	6	11月予定表
日	日	水	火	金	水	日	
県共済会研修会	婦人部料理教室	県常任理事会	婦人部役員会	県共済会常任理事会	理事会	県婦人部総会	

無料法律相談会

- 12月7日（水）午後2時～
- 民商事務所 於
- 法律事務所担当弁護士
- ※ 事前に電話予約が必要です

労災・雇用保険は民商へ

- 建設業なら事業主のみでも加入が可（大工・土木・左官・管・電気・塗装等）
- 保険料は年3回の分割払い
- 他の組合よりも手続き費用がお手頃

民商共済会はあなたの味方

- ◆ 会員・配偶者は無条件加入ができます
- ◆ 月1000円の掛金で入院1日3000円
- ◆ 3日以上入院で1日目から120日分給付
- ◆ 75歳で5万円の長寿祝金（65才未満加入）